

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 4日

事業所名 放課後等デイサービス 和順

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6名	1名		定員数以上の広さ が確保されている	
	2	職員の配置数は適切である	3名	4名		加配加算を「取得	各送迎時に常時職員2名体制が望まれる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	6名	1名		バリアフリー化され ている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	1名	4名		会議に確認	今後も会議等で職員へ広く周知していく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	3名	3名		平成30年度より実施	今後も業務改善に努めていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5名	2名		HPで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2名	2名	3名	受けていない	今後、検討したい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6名	1名		webでの研修を積 極的に受講した	県外研修にも取り組みたい
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4名	2名			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するた めに、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2名	3名	1名		
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	4名	2名	1名	担当者が会議で立	今後も児童らの意見を反映したプログラムを チームで立案していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	5名	2名		子ども会を通して 子どもの意見を反 映している	今後も継続していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3名	4名			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	3名	3名			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	1名	5名			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2名	4名		申し送りや連絡帳 を活用している	今後も継続して情報共有を図る
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5名	2名		日々記録をしている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断し ている	7名			定期的に行い会 議で検討してい る		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	1名	5名		複数の組み合わ せで行っている	今後も会議等で職員へ広く周知していく	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6名	1名		児発菅が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6名	1名		送迎時に確認している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3名	3名	1名	医療ケア児がいない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2名	4名		関係者会議を開催している	今後も受け入れ時に関係者会議を行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5名	2名		必要に応じて行っていく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6名		ペアトレ研修を受講	今後も継続して受講していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1名	3名	3名	コロナ禍のため、交流出来ていない	コロナの影響で活動が制限されている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5名	1名	管理者が参加している	今後も必要に応じて参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5名	2名		連絡帳の活用 送迎時に報告	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		6名		ペアトレ研修を受講	今後も職員の資質向上のためにも研修受講は必須
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5名	2名		契約時に説明	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5名	2名		必要に応じて行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1名	5名	1名	コロナ禍で出来ていない	今月末に家族会を開催予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6名	1名		関係機関と連携して速やかに対処している	苦情解決委員会の活用
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4名	2名	1名	毎月園だよりや子ども会議録、利用予定表を発行	
	35	個人情報に十分注意している	7名			入職時に説明	退職後の個人情報の取り扱いについても規定に記載されている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3名	3名			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4名	3名	盆踊り、運動会	コロナ禍で今年も中止

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5名	2名		策定されている	今後も会議にて職員へ周知していく
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7名			毎月、防災訓練を実施	消防、防災会社立ち合いも継続していく
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7名			全職員を対象に研修を実施	平成31年度より全職員を対象に研修を実施。今後も継続していく
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2名	3名	2名	身体拘束を要する児童はいない	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6名		アレルギーを有する児童はいない	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5名	1名		連絡帳に記載	今後、法人全体での書式を共有していく